

創発する協働へ

～全国の事例から仙台の協働を考える～

仙台市市民活動サポートセンターの調査研究事業で得た全国の事例等の報告とともに、横浜市で多様な主体の課題解決を推進するオープンイノベーションに第一線で取り組む関口氏のお話を交えて、仙台におけるこれからの協働について考えます。

2016年3月22日(火) 午後6時～午後8時30分
仙台市市民活動サポートセンター 市民活動シアター
(仙台市青葉区一番町四丁目 1-3-B1)

定員：30名 (参加費無料)

対象：地域課題の解決に取り組む市民・企業・行政。セクターの壁を超えて課題解決やまちづくりに取り組みたい方など

調査報告

「仙台市における地域・市民活動支援に関する基礎調査」

報告／佐藤芳治 (NPO 法人都市デザインワークス)

仙台市各課が実施する市民活動促進事業や市民協働事業の整理を通じて見えてきた地域の特徴や課題について。

「先進事例調査」

報告／菅野拓 (一般社団法人パーソナルサポートセンター)

東日本大震災の復興支援を事例にサードセクター (営利を目的とせずに社会的・公益的な活動を行う民間組織を中心に構成される領域。) の現在と施策の方向性について。

報告／菊地竜生 (仙台市市民活動サポートセンター)

全国から厳選した地域の課題解決およびまちづくりの7事例の着目点と事業スキームについて。

事例：富山型デイサービス、雲南市地域自主組織、富士市産業支援センター f-Biz、飛騨信用組合、横浜市オープンイノベーション、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝

ディスカッション

「全国の事例から仙台の協働を考える」

ディスカッションゲスト：

関口昌幸 (横浜市政策局政策課担当係長)

ファシリテーショングラフィック：

稲村理紗 (まちづくりファシリテーター／NPO 法人あきた NPO コアセンター理事)

主催：仙台市市民活動サポートセンター (管理運営：NPO 法人せんだい・みやぎNPOセンター)

創発する協働へ ～全国の事例から仙台の協働を考える～

人口減少、少子高齢化、東日本大震災後の復興、格差社会による貧困など、地域や社会の状況や課題は時流の中で複雑化しています。一方、今までの慣習や手法にとらわれる事無く、様々な課題解決に立ち向かう、多様な主体による多彩なアクションが生まれています。

平成27年7月に、豊かで活力ある地域社会を実現することを目的に「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」が改正されました。仙台市市民活動サポートセンターも、市民活動支援と共に多様な主体の協働によるまちづくり推進に取り組んでいきます。

そしてサポートセンターでは、協働によるまちづくりを次のステージに進めるための調査研究を始めました。5年計画の研究の第一歩となる今年度は、全国の先進事例調査と仙台市の市民活動支援策の基礎調査を、専門的視点を持つ2団体（一般社団法人パーソナルサポートセンター、特定非営利活動法人都市デザインワークス）と協力して実施しました。

今回は、調査で得た全国の事例等の報告とともに、横浜市でオープンイノベーションに第一線で取り組む関口氏のお話を交えて、仙台におけるこれからの協働について考えます。



ディスカッションゲスト

関口昌幸（横浜市政策局政策課担当係長）

1988年横浜市入庁。金沢区の企画調整課の職員として金沢区の市民参加と協働の街づくりを担当する。その後、横浜市企画局に異動。横浜市の政策情報誌である調査季報や市民生活白書の編集発行に携わる。2002年以降は都市経営局にて全市の総合的な政策立案を担当し、市民協働や人口減少社会をテーマにした政策指針や長期ビジョンの作成に関与。2006年に「こども青少年局」の発足と同時に、同局の企画調整課に異動。ひきこもりやニートなど困難を抱える若者たちの自立を支援するための包括的な施策形成と事業推進を担当。2012年4月1日より現職。横浜市におけるオープンデータやオープンイノベーション推進のための公民連携の体制づくりを担っている。



ファシリテーショングラフィック／

稲村理紗（まちづくりファシリテーター／NPO法人あきたNPOコアセンター理事）

1979年生。秋田県秋田市出身。秋田南高校卒業後、新潟大学教育人間科学部学習社会ネットワーク課程に進学。社会教育や生涯学習を学ぶ傍ら、市民活動やまちづくりワークショップ等に関わる。卒業後秋田に帰郷。2005年に秋田拠点センターアルヴェの市民活動支援施設「市民交流サロン」の市民活動支援アドバイザーに就任。市民活動に関する相談業務や講座の企画に従事。また、2009年にNPO法人あきたNPOコアセンターの理事に就任。2015年9月より山形市に移住。現在は東北を中心に、まちづくりワークショップのファシリテーターや研修講師等に従事している。

マチノワ・ラボ

市民一人一人の知恵や経験を持ち寄り、仙台におけるこれからの地域づくりや社会づくりを考え、実践の準備をするための広場です。今後、まちづくり事例の紹介や調査報告等をテーマに、継続して開催する予定です。

申込・問合せ：仙台市市民活動サポートセンター

電話：022-212-3010 FAX：022-268-4042

メール：sendai@sapo-sen.jp Web：http://sapo-sen.jp/

メールでお申込の方は、件名を「マチノワ・ラボ」として、氏名・所属・年代・住所・電話番号をお知らせください。

- アクセス
- ・JR仙台駅西口から徒歩約15分（約1.1km）
 - ・地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ
 - ・地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口徒歩約6分（約450m）
 - ・市営バス「商工会議所前」徒歩3分

